

教養学部情報科学科課程表

2020年度以降入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考			
			1年			2年			3年			4年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
教養教育科目	T G ベーシ ック 的基礎	聖書を学ぶ	半期	●		2											◎	
		キリスト教の歴史と思想	半期		●	2												◎
		キリスト教学A(キリスト教と倫理)	半期											2				} ◎印—必修科目 } ◎印—選択必修科目 } 4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。
		キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期										2					
		キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期										2					
		キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期										2					
		市民社会を生きる	半期	○	○	2												
		知的基礎	地球社会を生きる	半期				○	○	2								
			科学技術社会を生きる	半期				○	○	2								
			キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2											
	クリティカル・シンキング		半期							○	○	2						
	数理的思考の基礎		半期	○	○	2												
	統計的思考の基礎		半期	○	○	2												
	科学的思考の基礎		半期				○	○	2									
	情報化社会の基礎		半期	○	○	2												
	メディア・リテラシー		半期				○	○	2									
	読解・作文の技法		半期	○	○	2												
	研究・発表の技法	半期				○	○	2										
	人文系	哲学	半期	○	○	2												
		芸術論	半期	○	○	2												
		音楽	半期	○	○	2												
		歴史学	半期	○	○	2												
		文学	半期	○	○	2												
		倫理学	半期				○	○	2									
		社会科学系	心理学	半期	○	○	2											
			社会学	半期	○	○	2											
			経済学	半期	○	○	2											
			法学	半期	○	○	2											
地理学			半期	○	○	2												
日本国憲法			半期				○	○	2									
現代の政治			半期				○	○	2									
社会福祉論			半期				○	○	2									
東北地域論			半期				○	○	2									
自然系			環境の科学	半期	○	○	2											
		自然の科学	半期	○	○	2												
		生命の科学	半期	○	○	2												
	健康の科学	半期				○	○	2										
	先端の科学と技術	半期				○	○	2										
東北学院の歴史	半期										2							
地域教育科目	震災と復興	半期	○	○	2													
	地域の課題Ⅰ	半期				●		2								◎		
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2										
	地域課題演習	通年									4							
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1											◎	
		英語ⅠB	半期		●	1											◎	
		英語ⅡA	半期				●		1								◎	
		英語ⅡB	半期					●	1								◎	
		英語コミュニケーションⅠA	半期	●		1												
		英語コミュニケーションⅠB	半期		●	1												
		英語コミュニケーションⅡA	半期				●		1									
		英語コミュニケーションⅡB	半期					●	1									

教養学部情報科学科課程表

2020年度以降入学生適用（その3）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
学部 共通 科目	宗教と人間	半期						2									◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目 ◎ 2単位選択必修。同一学科名称の演習A、Bを修得すること。
	社会調査法	半期						2									
	ボランティア活動	半期						2									
	現代社会の諸問題	半期									2						
	ジェンダー論	半期									2						
	海外研究Ⅰ	半期						2									
	海外研究Ⅱ	半期						2									
	人間科学演習A	半期							●		1						
	人間科学演習B	半期								●	1						
	言語文化学演習A	半期							●		1						
	言語文化学演習B	半期								●	1						
	情報科学演習A	半期							●		1						
	情報科学演習B	半期								●	1						
	地域構想学演習A	半期							●		1						
	地域構想学演習B	半期								●	1						
	総合研究（卒業課題）A	半期											●	2	◎		
総合研究（卒業課題）B	半期												●	2 ◎			
学科 専門 科目	基礎 科目	情報科学基礎教育	半期	●	2											◎	
		情報システム基礎論A	半期	●	2											◎	
		情報システム運用法A	半期	●	2											◎	
		情報システム基礎論B	半期		●	2											◎
		情報システム運用法B	半期		●	2											◎
		情報数学概論	半期	●	2											◎	
		コンピュータと論理A	半期	●	2											◎	
		コンピュータと論理B	半期		●	2											◎
		コンピュータ科学A	半期				●		2								◎
		コンピュータ科学B	半期					●	2								◎
		情報科学への招待	半期				●		2								
		情報科学基礎演習A	半期				●		1								◎
		情報科学基礎演習B	半期					●	1								◎
		専門 科目	プログラミングの基礎	半期				●		2							
	プログラミング初級		半期				●		2								
	プログラミング中級		半期					●	2								
	プログラミング上級		半期							●		2					
	ソフトウェア開発論		半期								●	2					
	アルゴリズムとデータ構造		半期					●	2								
	コンピュータシステム論A		半期				●		2								
	コンピュータシステム論B		半期					●	2								
	ネットワーク基礎論		半期							●		2					
	ネットワーク運用論		半期								●	2					
	プログラム言語論		半期							●		2					
	データベースシステム		半期								●	2					
	メディア表現の技法A		半期							●		2					
	メディア表現の技法B		半期								●	2					
	情報社会と情報倫理		半期		●	2											
	情報と職業		半期							●		2					
	集合と論理	半期	●		2												
線形代数学Ⅰ	半期		●	2													
線形代数学Ⅱ	半期				●		2										
線形代数学Ⅲ	半期					●	2										
代数学Ⅰ	半期							●		2							
代数学Ⅱ	半期								●	2							
解析学Ⅰ	半期		●	2													

教養学部情報科学科課程表

2020年度以降入学生適用（その4）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前	後	単	前	後	単	前	後	単	前	後	単			
学科専門科目	解析学Ⅱ	半期				●		2									◎印—必修科目 ○印—選択必修科目
	解析学Ⅲ	半期					●	2									
	解析学Ⅳ	半期							●		2						
	幾何学Ⅰ	半期							●		2						
	幾何学Ⅱ	半期								●	2						
	確率・統計Ⅰ	半期							●		2						
	確率・統計Ⅱ	半期								●	2						
	数理情報学	半期				●		2									
	微分方程式	半期				●		2									
	複素関数	半期							●		2						
	フーリエ解析	半期							●		2						
	ベクトル解析	半期								●	2						
	数値解析	半期								●	2						
	感覚知覚情報論A	半期				●		2									
	感覚知覚情報論B	半期					●	2									
	自然情報科学	半期				●		2									
	情報科学実験実習	半期					●	2									
	免許および資格関係科目	現代教職論	半期			2											
教育基礎論		半期	●		2											○	
教育の制度と経営		半期		●	2											○	
教育心理学		半期						2								○	
教育課程論		半期				●		2								○	
道德教育の理論と方法		半期						2								☆	
教育の方法と技術		半期						2								○	
教育相談の理論と方法		半期						2								○	
生徒指導・進路指導の理論と方法		半期						2								○	
数学科教育法（概論）		半期					●	2								○	
数学科教育法（理論）		半期							●		2					○	
数学科教育法（実践）		半期								●	2					○	
数学科教育法（応用）		半期								●	2					○	
情報科教育法（概論・理論）		半期							●		2					○	
情報科教育法（実践・応用）		半期								●	2					○	
特別支援教育論		半期									2					○	
特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法		半期									2					○	
介護体験実習		通年									2					☆	
教育実習Ⅰ		通年												3		○	
教育実習Ⅱ		通年												2		☆	
教職実践演習（中・高）	半期											●	2		○		
社会教育主事に関する科目	博物館概論	半期	●		2												◇印は社会教育主事に必修
	博物館教育論	半期			2												
	市民活動論	半期		●	2												
	生涯学習概論Ⅰ	半期						2								◇	
	生涯学習概論Ⅱ	半期						2								◇	
	図書館概論	半期				●		2									
	地域スポーツ論	半期						2									
	スポーツ指導論	半期						2									
	地域構想論	半期						2									
	生涯学習支援論	通年							●	●	4					◇	
	社会教育実習Ⅰ	半期							●		1					◇	
	社会教育実習Ⅱ	半期								●	1						
	現代社会と社会教育	半期									2						
	社会教育課題研究	通年							●	●	4						

教養学部情報科学科課程表

2020年度以降入学生適用（その5）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考
			1年			2年			3年			4年			
			前	後	単	前	後	単	前	後	単	前	後	単	
社会教育主事に 関する科目	教育調査実習 A	半期							●		2				◇印は社会教育主事に必修
	教育調査実習 B	半期								●	2				
	市民性育成の教育論	半期									2				
	地域教育論	半期									2				
	地域社会論	半期									2				
	地域文化論	半期									2				
	スポーツマネジメント	半期									2				
	社会教育経営論	通年										●	●	4	
図書館制度・経営論	半期												2		
免許および資格関係科目 に 関する 科目	文化基礎論 I A	半期	●		2										◇印は日本語教員に必修
	文化基礎論 I B	半期		●	2										
	言語基礎論 I A	半期	●		2										
	言語基礎論 I B	半期		●	2										
	日本語教育学概論	半期			2										
	日本語学	半期			2										
	日本文学史 A	半期				●		2							
	日本文学史 B	半期					●	2							
	言語基礎論 II	半期						2							
	日本の言語文化論	半期						2							
	日本文化論特論	半期						2							
	言語習得論	半期						2							
	言語とコミュニケーション	半期						2							
	異文化コミュニケーション A	半期				●		2							
	異文化コミュニケーション B	半期					●	2							
	社会言語学	半期						2							
	日本語学特論	半期						2							
	日本語教授法	半期						2							
	日本語文法論	半期									2				
	日本語教育学特論 I	半期									2				
	対照言語学	半期									2				
	Advanced English Communication A	半期							●		1				
	Advanced English Communication B	半期								●	1				
	ドイツ語コミュニケーション III A	半期							●		1				
	ドイツ語コミュニケーション III B	半期								●	1				
	フランス語コミュニケーション III A	半期							●		1				
	フランス語コミュニケーション III B	半期								●	1				
	中国語コミュニケーション III A	半期							●		1				
中国語コミュニケーション III B	半期								●	1					
韓国・朝鮮語コミュニケーション III A	半期							●		1					
韓国・朝鮮語コミュニケーション III B	半期								●	1					
日本語教育実習法	半期								●	2					
日本語教育学特論 II	半期												2		

情報科学科卒業要件 (2019 (平成 31) 年度入学生より適用)

・卒業に必要な最低修得単位数

科目区分		単 位	
教養教育科目	TGベーシック	人間的基礎	10
		知的基礎	10
	学科教養科目	人文系	4
		社会系	4
		自然系	4
		東北学院の歴史	4
小 計		38	
地域教育科目		2	
外国語科目	第1類	4	
	第2類	2	
	小 計		6
学部共通科目		14	
学科専門科目	基礎科目	22	
	専門科目	30	
	小 計		52
教養教育科目 地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類 保健体育科目 学部共通科目 学科専門科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		12	
合 計		124	

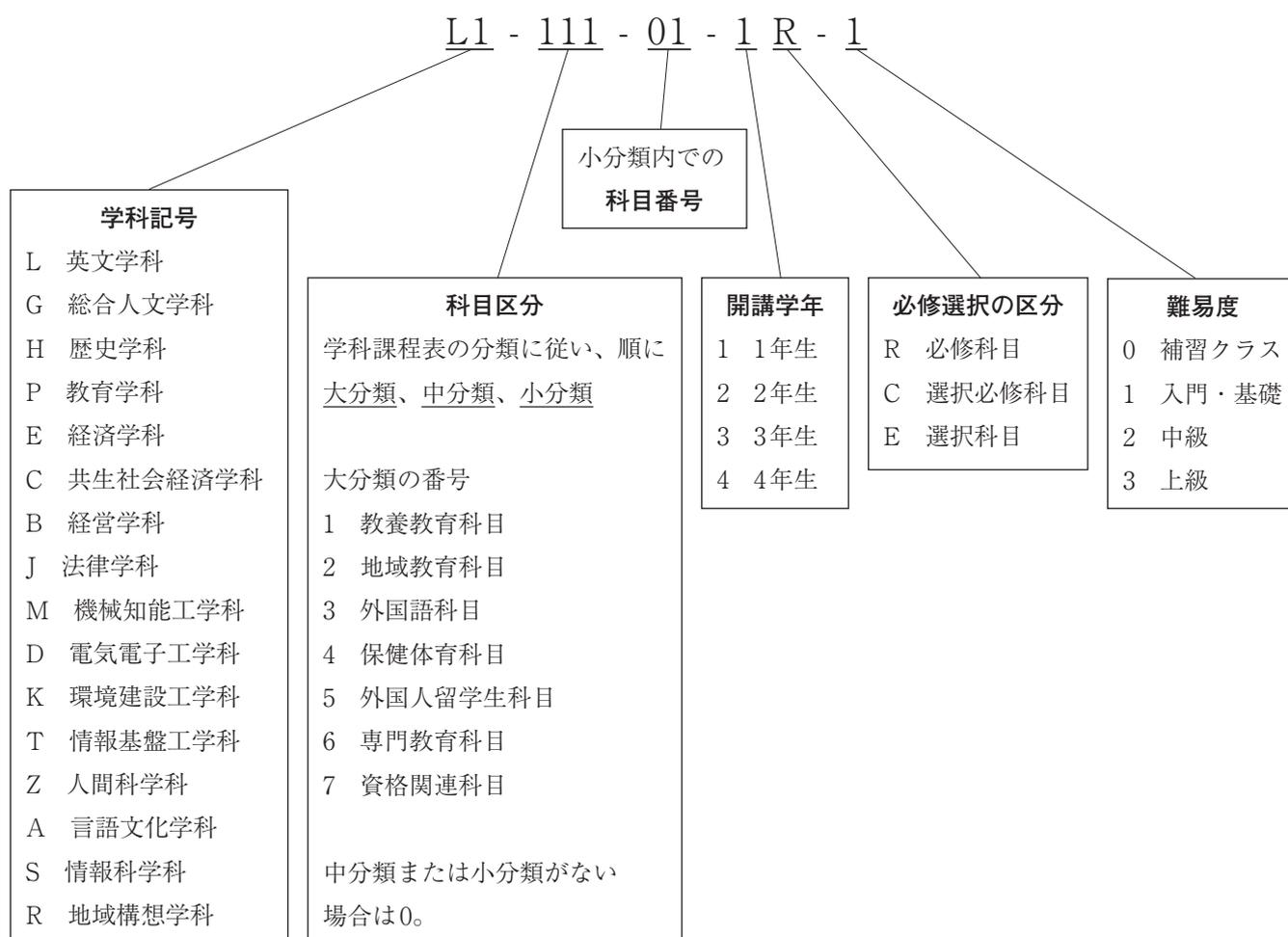
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				学位授与の方針(ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる
S1-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	○		○				
S1-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	○		○				
S1-111-03-3C-2	キリスト教学A(キリスト教と倫理)	○		○				
S1-111-04-3C-2	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	○		○				
S1-111-05-3C-2	キリスト教学C(キリスト教と文化)	○		○				
S1-111-06-3C-2	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	○		○				
S1-111-07-1E-1	市民社会を生きる			○				
S1-111-08-2E-1	地球社会を生きる			○				
S1-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			○				
S1-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			○				
S1-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		○	○				
S1-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		○					
S1-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		○					
S1-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		○	○				
S1-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		○	○				
S1-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		○	○				
S1-112-07-1E-1	読解・作文の技法		○					
S1-112-08-2E-1	研究・発表の技法		○					
S1-121-01-1E-1	哲学			○				
S1-121-02-1E-1	芸術論			○				
S1-121-03-1E-1	音楽			○				
S1-121-04-1E-1	歴史学			○				
S1-121-05-1E-1	文学			○				
S1-121-06-2E-1	倫理学			○				
S1-122-01-1E-1	心理学			○				
S1-122-02-1E-1	社会学			○				
S1-122-03-1E-1	経済学			○				
S1-122-04-1E-1	法学			○				
S1-122-05-1E-1	地理学			○				
S1-122-06-2E-1	日本国憲法			○				
S1-122-07-2E-1	現代の政治			○				
S1-122-08-2E-1	社会福祉論			○				
S1-122-09-2E-1	東北地域論			○				
S1-123-01-1E-1	環境の科学			○				
S1-123-02-1E-1	自然の科学			○				
S1-123-03-1E-1	生命の科学			○				
S1-123-04-2E-1	健康の科学			○				
S1-123-05-2E-1	先端の科学と技術			○				
S1-124-01-3E-1	東北学院の歴史	○		○				
S1-200-01-1E-1	震災と復興			○		○		
S1-200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ					○		
S1-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					○		
S1-200-04-3E-2	地域課題演習					○		
S1-310-01-1R-1	英語ⅠA		○	○				
S1-310-02-1R-1	英語ⅠB		○	○				
S1-310-03-2R-2	英語ⅡA		○	○				
S1-310-04-2R-2	英語ⅡB		○	○				
S1-310-05-1E-1	英語コミュニケーションⅠA		○	○				
S1-310-06-1E-1	英語コミュニケーションⅠB		○	○				
S1-310-07-2E-2	英語コミュニケーションⅡA		○	○				
S1-310-08-2E-2	英語コミュニケーションⅡB		○	○				
S1-320-01-1C-1	ドイツ語Ⅰ(週1)A		○	○				
S1-320-02-1C-1	ドイツ語Ⅰ(週1)B		○	○				
S1-320-03-1C-1	フランス語Ⅰ(週1)A		○	○				
S1-320-04-1C-1	フランス語Ⅰ(週1)B		○	○				
S1-320-05-1C-1	中国語Ⅰ(週1)A		○	○				
S1-320-06-1C-1	中国語Ⅰ(週1)B		○	○				
S1-320-07-1C-1	韓国・朝鮮語Ⅰ(週1)A		○	○				

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー-ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる	学修成果を情報システム・数理科学・自然科学の3領域で活用して社会の発展に貢献することができる
S1-320-08-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週 1) B		○	○					
S1-320-09-1C-1	ドイツ語 I (週 2) A		○	○					
S1-320-10-1C-1	ドイツ語 I (週 2) B		○	○					
S1-320-11-1C-1	フランス語 I (週 2) A		○	○					
S1-320-12-1C-1	フランス語 I (週 2) B		○	○					
S1-320-13-1C-1	中国語 I (週 2) A		○	○					
S1-320-14-1C-1	中国語 I (週 2) B		○	○					
S1-320-15-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週 2) A		○	○					
S1-320-16-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週 2) B		○	○					
S1-320-17-1E-1	ドイツ語コミュニケーション I A		○	○					
S1-320-18-1E-1	ドイツ語コミュニケーション I B		○	○					
S1-320-19-1E-1	フランス語コミュニケーション I A		○	○					
S1-320-20-1E-1	フランス語コミュニケーション I B		○	○					
S1-320-21-1E-1	中国語コミュニケーション I A		○	○					
S1-320-22-1E-1	中国語コミュニケーション I B		○	○					
S1-320-23-1E-1	韓国・朝鮮語コミュニケーション I A		○	○					
S1-320-24-1E-1	韓国・朝鮮語コミュニケーション I B		○	○					
S1-320-25-2E-2	ドイツ語 II A		○	○					
S1-320-26-2E-2	ドイツ語 II B		○	○					
S1-320-27-2E-2	フランス語 II A		○	○					
S1-320-28-2E-2	フランス語 II B		○	○					
S1-320-29-2E-2	中国語 II A		○	○					
S1-320-30-2E-2	中国語 II B		○	○					
S1-320-31-2E-2	韓国・朝鮮語 II A		○	○					
S1-320-32-2E-2	韓国・朝鮮語 II B		○	○					
S1-330-01-1E-0	ベーシック英語		○						
S1-330-02-3E-3	英語 III		○	○					
S1-400-01-1E-1	体育講義			○					
S1-400-02-1E-1	スポーツ実技			○					
S1-510-01-1E-1	日本事情 A		○	○					
S1-510-02-1E-1	日本事情 B		○	○					
S1-510-03-1E-1	日本事情 C		○	○					
S1-520-01-1E-1	日本語 I A		○	○					
S1-520-02-1E-1	日本語 I B		○	○					
S1-520-03-2E-2	日本語 II A		○	○					
S1-520-04-2E-2	日本語 II B		○	○					
S1-610-01-1E-1	基礎コンピュータ		○		○				
S1-610-02-1E-1	基礎統計学		○		○				
S1-610-03-1E-2	応用統計学		○		○				
S1-610-04-1E-2	文化人類学			○	○				
S1-610-05-2E-1	キャリアデザイン		○						
S1-610-06-2E-2	思想の歴史			○	○				
S1-610-07-2E-2	芸術の歴史			○	○				
S1-610-08-2E-2	宗教と人間			○	○				
S1-610-09-2E-2	社会調査法		○		○				
S1-610-10-2E-1	ボランティア活動	○		○					
S1-610-11-3E-2	現代社会の諸問題			○	○				
S1-610-12-3E-3	ジェンダー論			○	○				
S1-610-13-2E-2	海外研究 I		○	○					
S1-610-14-2E-2	海外研究 II		○	○					
S1-610-15-3C-3	人間科学演習 A				○	○			
S1-610-16-3C-3	人間科学演習 B				○	○			
S1-610-17-3C-3	言語文化学演習 A				○	○			
S1-610-18-3C-3	言語文化学演習 B				○	○			
S1-610-19-3C-3	情報科学演習 A				○	○			
S1-610-20-3C-3	情報科学演習 B				○	○			
S1-610-21-3C-3	地域構想学演習 A				○	○			
S1-610-22-3C-3	地域構想学演習 B				○	○			

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー-ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うための基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる	学修成果を情報システム・数理科学・自然科学の3領域で活用して社会の発展に貢献することができる
S1-610-23-4R-3	総合研究(卒業課題)A				○	◎			
S1-610-24-4R-3	総合研究(卒業課題)B				○	◎			
S1-620-01-1R-0	情報科学基礎教育						◎	○	
S1-620-02-1R-1	情報システム基礎論A						◎	○	
S1-620-03-1R-1	情報システム運用法A						◎	○	
S1-620-04-1R-1	情報システム基礎論B						◎	○	
S1-620-05-1R-1	情報システム運用法B						◎	○	
S1-620-06-1R-1	情報数学概論						◎	○	
S1-620-07-1R-1	コンピュータと論理A						◎	○	
S1-620-08-1R-1	コンピュータと論理B						◎	○	
S1-620-09-2R-1	コンピュータ科学A						◎	○	
S1-620-10-2R-1	コンピュータ科学B						◎	○	
S1-620-11-2E-1	情報科学への招待						◎	○	
S1-620-12-2R-1	情報科学基礎演習A						◎	○	
S1-620-13-2R-1	情報科学基礎演習B						◎	○	
S1-630-01-2E-1	プログラミングの基礎							◎	
S1-630-02-2E-1	プログラミング初級							◎	
S1-630-03-2E-2	プログラミング中級							◎	
S1-630-04-3E-3	プログラミング上級							◎	
S1-630-05-3E-3	ソフトウェア開発論							◎	
S1-630-06-2E-2	アルゴリズムとデータ構造							◎	
S1-630-07-2E-2	コンピュータシステム論A							◎	
S1-630-08-2E-3	コンピュータシステム論B							◎	
S1-630-09-3E-2	ネットワーク基礎論							◎	
S1-630-10-3E-3	ネットワーク運用論							◎	
S1-630-11-3E-3	プログラム言語論							◎	
S1-630-12-3E-2	データベースシステム							◎	
S1-630-13-3E-2	メディア表現の技法A							◎	
S1-630-14-3E-3	メディア表現の技法B							◎	
S1-630-15-1E-2	情報社会と情報倫理						○	◎	
S1-630-16-3E-2	情報と職業						○	◎	
S1-630-17-1E-1	集合と論理							◎	
S1-630-18-1E-1	線形代数学Ⅰ							◎	
S1-630-19-2E-1	線形代数学Ⅱ							◎	
S1-630-20-2E-2	線形代数学Ⅲ							◎	
S1-630-21-3E-2	代数学Ⅰ							◎	
S1-630-22-3E-3	代数学Ⅱ							◎	
S1-630-23-1E-1	解析学Ⅰ							◎	
S1-630-24-2E-1	解析学Ⅱ							◎	
S1-630-25-2E-2	解析学Ⅲ							◎	
S1-630-26-3E-2	解析学Ⅳ							◎	
S1-630-27-3E-1	幾何学Ⅰ							◎	
S1-630-28-3E-2	幾何学Ⅱ							◎	
S1-630-29-3E-2	確率・統計Ⅰ							◎	
S1-630-30-3E-3	確率・統計Ⅱ							◎	
S1-630-31-2E-2	数理情報学							◎	
S1-630-32-2E-3	微分方程式							◎	
S1-630-33-3E-3	複素関数							◎	
S1-630-34-3E-3	フーリエ解析							◎	○
S1-630-35-3E-3	ベクトル解析							◎	
S1-630-36-3E-2	数値解析							◎	○
S1-630-37-2E-2	感覚知覚情報論A						○	◎	
S1-630-38-2E-2	感覚知覚情報論B						○	◎	
S1-630-39-2E-2	自然情報科学						○	◎	
S1-630-40-2E-1	情報科学実験実習						○	◎	
S1-711-01-2E-1	社会統計学A			◎					
S1-711-02-3E-2	情報社会論			◎					
S1-712-01-1R-1	現代教職論			◎					

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その4)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学位授与の方針(ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うための必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる	学修成果を情報システム・数理学・自然科学の3領域で活用して社会の発展に貢献することができる
S1-712-02-1R-1	教育基礎論			○					
S1-712-03-1R-1	教育の制度と経営			○					
S1-712-04-2R-2	教育心理学			○					
S1-712-05-2R-2	教育課程論			○					
S1-712-06-2R-2	道徳教育の理論と方法			○					
S1-712-07-2R-2	教育の方法と技術			○					
S1-712-08-2R-2	教育相談の理論と方法			○					
S1-712-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			○					
S1-712-10-2R-3	数学科教育法(概論)			○	○				
S1-712-11-3R-3	数学科教育法(理論)			○	○				
S1-712-12-3R-3	数学科教育法(実践)			○	○				
S1-712-13-3R-3	数学科教育法(応用)			○	○				
S1-712-14-3R-3	情報科教育法(概論・理論)			○	○				
S1-712-15-3R-3	情報科教育法(実践・応用)			○	○				
S1-712-16-3R-3	特別支援教育論			○	○				
S1-712-17-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	○				
S1-712-18-3R-2	介護体験実習			○					
S1-712-19-4R-3	教育実習Ⅰ				○	○			
S1-712-20-4R-3	教育実習Ⅱ				○	○			
S1-712-21-4R-3	教職実践演習(中・高)					○			
S2-720-01-1E-1	博物館概論			○					
S2-720-02-1E-2	博物館教育論			○					
S2-720-03-1E-2	市民活動論			○					
S2-720-04-2R-2	生涯学習概論Ⅰ			○					
S2-720-05-2R-2	生涯学習概論Ⅱ			○					
S2-720-06-2E-1	図書館概論			○					
S2-720-07-2E-2	地域スポーツ論			○					
S2-720-08-2E-2	スポーツ指導論			○					
S2-720-09-2E-2	地域構想論			○					
S2-720-10-3R-2	生涯学習支援論			○					
S2-720-11-3R-3	社会教育実習Ⅰ			○		○			
S2-720-12-3E-3	社会教育実習Ⅱ			○		○			
S2-720-13-3E-3	社会教育課題研究			○		○			
S2-720-14-3E-2	教育調査実習A			○					
S2-720-15-3E-2	教育調査実習B			○					
S2-720-16-3E-2	現代社会と社会教育			○					
S2-720-17-3E-2	市民性育成の教育論			○					
S2-720-18-3E-2	地域教育論			○					
S2-720-19-3E-2	地域社会論			○					
S2-720-20-3E-2	地域文化論			○					
S2-720-21-3E-2	スポーツマネジメント			○					
S2-720-22-4R-3	社会教育経営論			○					
S2-720-23-4E-2	図書館制度・経営論			○					
S1-730-01-1E-1	文化基礎論ⅠA			○					
S1-730-02-1E-1	文化基礎論ⅠB			○					
S1-730-03-1E-1	言語基礎論ⅠA			○					
S1-730-04-1E-1	言語基礎論ⅠB			○					
S1-730-05-1E-1	日本語教育学概論			○					
S1-730-06-1E-2	日本語学		○		○				
S1-730-07-2E-2	日本文学史A			○					
S1-730-08-2E-2	日本文学史B			○					
S1-730-09-2E-2	言語基礎論Ⅱ			○					
S1-730-10-2E-2	日本の言語文化論			○					
S1-730-11-2E-2	日本文化論特論			○					
S1-730-12-2E-2	言語習得論			○					
S1-730-13-2E-2	言語とコミュニケーション		○						
S1-730-14-2E-2	異文化コミュニケーションA		○						
S1-730-15-2E-2	異文化コミュニケーションB		○						

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その5)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				学科学位授与の方針(ディプロマポリシー-ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる
S1-730-16-2E-2	社会言語学			○				
S1-730-17-2E-2	日本語学特論			○				
S1-730-18-2E-2	日本語教授法			○				
S1-730-19-3E-2	日本語文法論			○				
S1-730-20-3E-2	日本語教育学特論 I			○				
S1-730-21-3E-2	対照言語学			○				
S1-730-22-3E-3	Advanced EngliS1-h Communication A		○					
S1-730-23-3E-3	Advanced EngliS1-h Communication B		○					
S1-730-24-3E-3	ドイツ語コミュニケーションⅢ A		○					
S1-730-25-3E-3	ドイツ語コミュニケーションⅢ B		○					
S1-730-26-3E-3	フランス語コミュニケーションⅢ A		○					
S1-730-27-3E-3	フランス語コミュニケーションⅢ B		○					
S1-730-28-3E-3	中国語コミュニケーションⅢ A		○					
S1-730-29-3E-3	中国語コミュニケーションⅢ B		○					
S1-730-30-3E-3	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢ A		○					
S1-730-31-3E-3	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢ B		○					
S1-730-32-3E-3	日本語教育実習法			○		○		
S1-730-33-4E-2	日本語教育学特論 II			○				

教養学部情報科学科課程表

2019(平成31)年度入学生適用(その1)

※開講学年前期後期欄 { ●-原則としてその学期で開講。
○-原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
教養教育科目	T G ベーシ ック 的基礎	聖書を学ぶ	半期	●		2												◎	
		キリスト教の歴史と思想	半期		●	2												◎	
		キリスト教学A(キリスト教と倫理)	半期											2					} ◎印-必修科目 } ◎印-選択必修科目 } 4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。
		キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期										2						
		キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期										2						
		キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期										2						
		市民社会を生きる	半期	○	○	2													
		知的基礎	地球社会を生きる	半期				○	○	2									
			科学技術社会を生きる	半期				○	○	2									
			キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2												
	クリティカル・シンキング		半期							○	○	2							
	数理的思考の基礎		半期	○	○	2													
	統計的思考の基礎		半期	○	○	2													
	科学的思考の基礎		半期				○	○	2										
	情報化社会の基礎		半期	○	○	2													
	メディア・リテラシー		半期				○	○	2										
	読解・作文の技法		半期	○	○	2													
	研究・発表の技法	半期				○	○	2											
	人文系	哲学	半期	○	○	2													
		芸術論	半期	○	○	2													
		音楽	半期	○	○	2													
		歴史学	半期	○	○	2													
		文学	半期	○	○	2													
		倫理学	半期				○	○	2										
		社会科学系	心理学	半期	○	○	2												
			社会学	半期	○	○	2												
			経済学	半期	○	○	2												
			法学	半期	○	○	2												
地理学	半期		○	○	2														
日本国憲法	半期					○	○	2											
現代の政治	半期					○	○	2											
社会福祉論	半期					○	○	2											
東北地域論	半期					○	○	2											
自然系	環境の科学		半期	○	○	2													
	自然の科学	半期	○	○	2														
	生命の科学	半期	○	○	2														
	健康の科学	半期				○	○	2											
	先端の科学と技術	半期				○	○	2											
東北学院の歴史	東北学院の歴史	半期										2							
地域教育科目	震災と復興	半期	○	○	2														
	地域の課題Ⅰ	半期				●		2									◎		
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2											
	地域課題演習	通年										4							
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1												◎	
		英語ⅠB	半期		●	1												◎	
		英語ⅡA	半期				●		1									◎	
		英語ⅡB	半期					●	1									◎	
		英語コミュニケーションⅠA	半期	●		1													
		英語コミュニケーションⅠB	半期		●	1													
		英語コミュニケーションⅡA	半期				●		1										
英語コミュニケーションⅡB	半期					●	1												

教養学部情報科学科課程表

2019 (平成31) 年度入学生適用 (その3)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
学部 共通 科目	宗教と人間	半期						2									◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目 ◎ 2単位選択必修。同一学科名称の演習A、Bを修得すること。
	社会調査法	半期						2									
	ボランティア活動	半期						2									
	現代社会の諸問題	半期									2						
	ジェンダー論	半期									2						
	海外研究 I	半期						2									
	海外研究 II	半期						2									
	人間科学演習 A	半期							●		1						
	人間科学演習 B	半期								●	1						
	言語文化学演習 A	半期							●		1						
	言語文化学演習 B	半期								●	1						
	情報科学演習 A	半期							●		1						
	情報科学演習 B	半期								●	1						
	地域構想学演習 A	半期							●		1						
	地域構想学演習 B	半期								●	1						
	総合研究 (卒業課題) A	半期											●		2	◎	
総合研究 (卒業課題) B	半期												●	2	◎		
学科 専門 科目	基礎 科目	情報科学基礎教育	半期	●	2											◎	
		情報システム基礎論 A	半期	●	2											◎	
		情報システム運用法 A	半期	●	2											◎	
		情報システム基礎論 B	半期		●	2											◎
		情報システム運用法 B	半期		●	2											◎
		情報数学概論	半期	●	2											◎	
		コンピュータと論理 A	半期	●	2											◎	
		コンピュータと論理 B	半期		●	2											◎
		コンピュータ科学 A	半期				●		2								◎
		コンピュータ科学 B	半期					●	2								◎
		情報科学への招待	半期				●		2								
		情報科学基礎演習 A	半期				●		1								◎
		情報科学基礎演習 B	半期					●	1								◎
		専門 科目	プログラミングの基礎	半期				●		2							
	プログラミング初級		半期				●		2								
	プログラミング中級		半期					●	2								
	プログラミング上級		半期							●		2					
	ソフトウェア開発論		半期								●	2					
	アルゴリズムとデータ構造		半期					●	2								
	コンピュータシステム論 A		半期				●		2								
	コンピュータシステム論 B		半期					●	2								
	ネットワーク基礎論		半期							●		2					
	ネットワーク運用論		半期								●	2					
	プログラム言語論		半期							●		2					
	データベースシステム		半期								●	2					
	メディア表現の技法 A		半期							●		2					
	メディア表現の技法 B		半期								●	2					
	情報社会と情報倫理	半期		●	2												
情報と職業	半期							●		2							
集合と論理	半期	●		2													
線形代数学 I	半期		●	2													
線形代数学 II	半期				●		2										
線形代数学 III	半期					●	2										
代数学 I	半期							●		2							
代数学 II	半期								●	2							
解析学 I	半期		●	2													

教養学部情報科学科課程表

2019 (平成31) 年度入学生適用 (その4)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
学科専門科目	解析学 II	半期				●		2									◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目
	解析学 III	半期					●	2									
	解析学 IV	半期							●		2						
	幾何学 I	半期							●		2						
	幾何学 II	半期								●	2						
	確率・統計 I	半期							●		2						
	確率・統計 II	半期								●	2						
	数理情報学	半期				●		2									
	微分方程式	半期				●		2									
	複素関数	半期							●		2						
	フーリエ解析	半期							●		2						
	ベクトル解析	半期								●	2						
	数値解析	半期								●	2						
	感覚知覚情報論 A	半期				●		2									
	感覚知覚情報論 B	半期					●	2									
	自然情報科学	半期				●		2									
	情報科学実験実習	半期					●	2									
	免許および資格関係科目	現代教職論	半期			2											
教育基礎論		半期	●		2											○	
教育の制度と経営		半期		●	2											○	
教育心理学		半期						2								○	
教育課程論		半期				●		2								○	
道德教育の理論と方法		半期						2								☆	
教育の方法と技術		半期						2								○	
教育相談の理論と方法		半期						2								○	
生徒指導・進路指導の理論と方法		半期						2								○	
数学科教育法 (概論)		半期					●	2								○	
数学科教育法 (理論)		半期							●		2					○	
数学科教育法 (実践)		半期								●	2					○	
数学科教育法 (応用)		半期								●	2					○	
情報科教育法 (概論・理論)		半期							●		2					○	
情報科教育法 (実践・応用)		半期								●	2					○	
特別支援教育論		半期									2					○	
特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法		半期									2					○	
介護体験実習		通年									2					☆	
教育実習 I		通年												3		○	
教育実習 II		通年												2		☆	
教職実践演習 (中・高)		半期											●	2		○	
社会教育主事に関する科目	博物館概論	半期	●		2												◇印は社会教育主事に必修
	博物館教育論	半期			2												
	市民活動論	半期		●	2												
	生涯学習概論 I	半期						2								◇	
	生涯学習概論 II	半期						2								◇	
	図書館概論	半期				●		2									
	地域スポーツ論	半期						2									
	スポーツ指導論	半期						2									
	地域構想論	半期						2									
	現代社会と社会教育	半期									2					◇	
	社会教育課題研究	通年							●	●	4						
	社会教育実習	通年							●	●	2						
	教育調査実習 A	半期							●		2						
	教育調査実習 B	半期								●	2						

教養学部情報科学科課程表

2019 (平成31) 年度入学生適用 (その5)

※開講学年前期後期欄 { ●-原則としてその学期で開講。
○-原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
社会教育主事に 関する科目	市民性育成の教育論	半期												2	◇印は社会教育主事に必修	
	地域教育論	半期												2		
	地域社会論	半期												2		
	地域文化論	半期												2		
	スポーツマネジメント	半期												2		
	社会教育計画	通年										●	●	4		◇
	図書館制度・経営論	半期												2		
免許および資格関係科目 に 関する 科目	文化基礎論 I A	半期	●		2										□印は日本語教員に必修	
	文化基礎論 I B	半期		●	2											
	言語基礎論 I A	半期	●		2											
	言語基礎論 I B	半期		●	2											
	日本語教育学概論	半期			2											
	日本語学	半期			2											
	日本文学史A	半期				●		2								
	日本文学史B	半期					●	2								
	言語基礎論 II	半期						2								
	日本の言語文化論	半期						2						□		
	日本文化論特論	半期						2								
	言語習得論	半期						2						□		
	言語とコミュニケーション	半期						2						□		
	異文化コミュニケーションA	半期				●		2								
	異文化コミュニケーションB	半期					●	2								
	社会言語学	半期						2								
	日本語学特論	半期						2						□		
	日本語教授法	半期						2						□		
	日本語文法論	半期									2			□		
	日本語教育学特論 I	半期									2			□		
	対照言語学	半期									2					
	Advanced English Communication A	半期							●		1					
	Advanced English Communication B	半期								●	1					
	ドイツ語コミュニケーション III A	半期							●		1					
	ドイツ語コミュニケーション III B	半期								●	1					
	フランス語コミュニケーション III A	半期							●		1					
フランス語コミュニケーション III B	半期								●	1						
中国語コミュニケーション III A	半期							●		1						
中国語コミュニケーション III B	半期								●	1						
韓国・朝鮮語コミュニケーション III A	半期							●		1						
韓国・朝鮮語コミュニケーション III B	半期								●	1						
日本語教育実習法	半期								●	2			□			
日本語教育学特論 II	半期												2			

情報科学科卒業要件 (2019 (平成 31) 年度入学生より適用)

・卒業に必要な最低修得単位数

科目区分		単 位	
教養教育科目	TGベーシック	人間的基礎	10
		知的基礎	10
	学科教養科目	人文系	4
		社会系	4
		自然系	4
		東北学院の歴史	
小 計		38	
地域教育科目		2	
外国語科目	第1類	4	
	第2類	2	
	小 計		6
学部共通科目		14	
学科専門科目	基礎科目	22	
	専門科目	30	
	小 計		52
教養教育科目 地域教育科目 外国語科目第1類及び第2類 保健体育科目 学部共通科目 学科専門科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		12	
合 計		124	

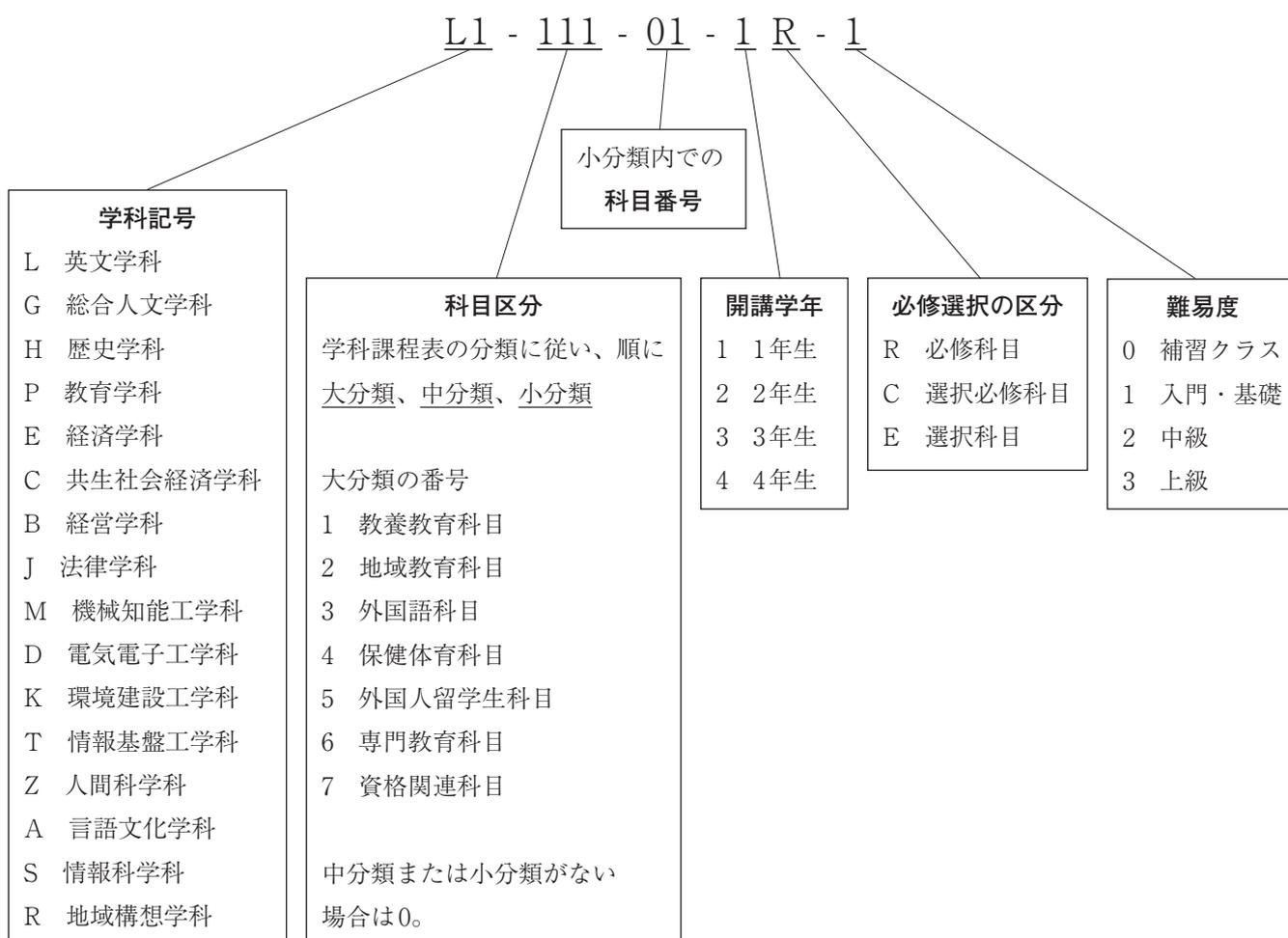
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー-ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを交える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる	学修成果を情報システム・数理学・自然科学の3領域で活用して社会の発展に貢献することができる
S1-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○					
S1-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○					
S1-111-03-3C-2	キリスト教学A(キリスト教と倫理)	◎		○					
S1-111-04-3C-2	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	◎		○					
S1-111-05-3C-2	キリスト教学C(キリスト教と文化)	◎		○					
S1-111-06-3C-2	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	◎		○					
S1-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎					
S1-111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎					
S1-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎					
S1-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎					
S1-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○					
S1-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎						
S1-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎						
S1-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○					
S1-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○					
S1-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎					
S1-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎						
S1-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎						
S1-121-01-1E-1	哲学入門			◎					
S1-121-02-1E-1	芸術論			◎					
S1-121-03-1E-1	音楽			◎					
S1-121-04-1E-1	歴史学			◎					
S1-121-05-1E-1	文学			◎					
S1-121-06-2E-1	倫理学入門			◎					
S1-122-01-1E-1	心理学			◎					
S1-122-02-1E-1	社会学			◎					
S1-122-03-1E-1	経済学入門			◎					
S1-122-04-1E-1	法学基礎			◎					
S1-122-05-1E-1	地理学			◎					
S1-122-06-2E-1	日本国憲法			◎					
S1-122-07-2E-1	現代政治論			◎					
S1-122-08-2E-1	社会福祉論			◎					
S1-122-09-2E-1	東北地域論			◎					
S1-123-01-1E-1	環境の科学			◎					
S1-123-02-1E-1	自然の科学			◎					
S1-123-03-1E-1	生命の科学			◎					
S1-123-04-2E-1	健康の科学			◎					
S1-123-05-2E-1	先端の科学と技術			◎					
S1-124-01-3E-1	東北学院の歴史	○		◎					
S1-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎			
S1-200-02-2R-1	地域の課題 I					◎			
S1-200-03-2E-1	地域の課題 II					◎			
S1-200-04-3E-2	地域課題演習					◎			
S1-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○					
S1-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○					
S1-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○					
S1-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○					
S1-310-05-1E-1	英語コミュニケーション I A		◎	○					
S1-310-06-1E-1	英語コミュニケーション I B		◎	○					
S1-310-07-2E-2	英語コミュニケーション II A		◎	○					
S1-310-08-2E-2	英語コミュニケーション II B		◎	○					
S1-320-01-1C-1	ドイツ語 I (週1)A		◎	○					
S1-320-02-1C-1	ドイツ語 I (週1)B		◎	○					
S1-320-03-1C-1	フランス語 I (週1)A		◎	○					

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				学科学位授与の方針(ディプロマポリシー-ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語を活用できる	もつことを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを交える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる
S1-320-04-1C-1	フランス語 I (週1)B		◎	○				
S1-320-05-1C-1	中国語 I (週1)A		◎	○				
S1-320-06-1C-1	中国語 I (週1)B		◎	○				
S1-320-07-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週1)A		◎	○				
S1-320-08-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週1)B		◎	○				
S1-320-09-1C-1	ドイツ語 I (週2)A		◎	○				
S1-320-10-1C-1	ドイツ語 I (週2)B		◎	○				
S1-320-11-1C-1	フランス語 I (週2)A		◎	○				
S1-320-12-1C-1	フランス語 I (週2)B		◎	○				
S1-320-13-1C-1	中国語 I (週2)A		◎	○				
S1-320-14-1C-1	中国語 I (週2)B		◎	○				
S1-320-15-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週2)A		◎	○				
S1-320-16-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週2)B		◎	○				
S1-320-17-1E-1	ドイツ語コミュニケーション I A		◎	○				
S1-320-18-1E-1	ドイツ語コミュニケーション I B		◎	○				
S1-320-19-1E-1	フランス語コミュニケーション I A		◎	○				
S1-320-20-1E-1	フランス語コミュニケーション I B		◎	○				
S1-320-21-1E-1	中国語コミュニケーション I A		◎	○				
S1-320-22-1E-1	中国語コミュニケーション I B		◎	○				
S1-320-23-1E-1	韓国・朝鮮語コミュニケーション I A		◎	○				
S1-320-24-1E-1	韓国・朝鮮語コミュニケーション I B		◎	○				
S1-320-25-2E-2	ドイツ語 II A		◎	○				
S1-320-26-2E-2	ドイツ語 II B		◎	○				
S1-320-27-2E-2	フランス語 II A		◎	○				
S1-320-28-2E-2	フランス語 II B		◎	○				
S1-320-29-2E-2	中国語 II A		◎	○				
S1-320-30-2E-2	中国語 II B		◎	○				
S1-320-31-2E-2	韓国・朝鮮語 II A		◎	○				
S1-320-32-2E-2	韓国・朝鮮語 II B		◎	○				
S1-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎					
S1-330-02-3E-3	英語Ⅲ		◎	○				
S1-400-01-1E-1	体育講義			◎				
S1-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎				
S1-510-01-1E-1	日本事情A		◎	○				
S1-510-02-1E-1	日本事情B		◎	○				
S1-510-03-1E-1	日本事情C		◎	○				
S1-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○				
S1-520-02-1E-1	日本語 I B		◎	○				
S1-520-03-2E-2	日本語 II A		◎	○				
S1-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○				
S1-610-01-1E-1	基礎コンピュータ		◎		○			
S1-610-02-1E-1	基礎統計学		◎		○			
S1-610-03-1E-2	応用統計学		◎		○			
S1-610-04-1E-2	文化人類学			◎	○			
S1-610-05-2E-1	キャリアデザイン		◎					
S1-610-06-2E-2	思想の歴史			◎	○			
S1-610-07-2E-2	芸術の歴史			◎	○			
S1-610-08-2E-2	宗教と人間			◎	○			
S1-610-09-2E-2	社会調査法		◎		○			
S1-610-10-2E-1	ボランティア活動	○		◎				
S1-610-11-3E-2	現代社会の諸問題			◎	○			
S1-610-12-3E-3	ジェンダー論			○	◎			
S1-610-13-2E-2	海外研究 I		◎	○				
S1-610-14-2E-2	海外研究 II		◎	○				

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー-ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを交える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる	学修成果を情報システム・数理科学・自然科学の3領域で活用して社会の発展に貢献することができる
S1-610-15-3C-3	人間科学演習A				◎	○			
S1-610-16-3C-3	人間科学演習B				◎	○			
S1-610-17-3C-3	言語文化学演習A				◎	○			
S1-610-18-3C-3	言語文化学演習B				◎	○			
S1-610-19-3C-3	情報科学演習A				◎	○			
S1-610-20-3C-3	情報科学演習B				◎	○			
S1-610-21-3C-3	地域構想学演習A				◎	○			
S1-610-22-3C-3	地域構想学演習B				◎	○			
S1-610-23-4R-3	総合研究(卒業課題)A				○	◎			
S1-610-24-4R-3	総合研究(卒業課題)B				○	◎			
S1-620-01-1R-0	情報科学基礎教育						◎	○	
S1-620-02-1R-1	情報システム基礎論A						◎	○	
S1-620-03-1R-1	情報システム運用法A						◎	○	
S1-620-04-1R-1	情報システム基礎論B						◎	○	
S1-620-05-1R-1	情報システム運用法B						◎	○	
S1-620-06-1R-1	情報数学概論						◎	○	
S1-620-07-1R-1	コンピュータと論理A						◎	○	
S1-620-08-1R-1	コンピュータと論理B						◎	○	
S1-620-09-2R-1	コンピュータ科学A						◎	○	
S1-620-10-2R-1	コンピュータ科学B						◎	○	
S1-620-11-2E-1	情報科学への招待						◎		
S1-620-12-2R-1	情報科学基礎演習A						◎	○	
S1-620-13-2R-1	情報科学基礎演習B						◎	○	
S1-630-01-2E-1	プログラミングの基礎							◎	
S1-630-02-2E-1	プログラミング初級							◎	
S1-630-03-2E-2	プログラミング中級							◎	
S1-630-04-3E-3	プログラミング上級							◎	
S1-630-05-3E-3	ソフトウェア開発論							◎	
S1-630-06-2E-2	アルゴリズムとデータ構造							◎	
S1-630-07-2E-2	コンピュータシステム論A							◎	
S1-630-08-2E-3	コンピュータシステム論B							◎	
S1-630-09-3E-2	ネットワーク基礎論							◎	
S1-630-10-3E-3	ネットワーク運用論							◎	
S1-630-11-3E-3	プログラム言語論							◎	
S1-630-12-3E-2	データベースシステム							◎	
S1-630-13-3E-2	メディア表現の技法A							◎	
S1-630-14-3E-3	メディア表現の技法B							◎	
S1-630-15-1E-2	情報社会と情報倫理						○	◎	
S1-630-16-3E-2	情報と職業						○	◎	
S1-630-17-1E-1	集合と論理							◎	
S1-630-18-1E-1	線形代数学 I							◎	
S1-630-19-2E-1	線形代数学 II							◎	
S1-630-20-2E-2	線形代数学 III							◎	
S1-630-21-3E-2	代数学 I							◎	
S1-630-22-3E-3	代数学 II							◎	
S1-630-23-1E-1	解析学 I							◎	
S1-630-24-2E-1	解析学 II							◎	
S1-630-25-2E-2	解析学 III							◎	
S1-630-26-3E-2	解析学 IV							◎	
S1-630-27-3E-1	幾何学 I							◎	
S1-630-28-2E-2	幾何学 II							◎	
S1-630-29-3E-2	確率・統計 I							◎	
S1-630-30-3E-3	確率・統計 II							◎	
S1-630-31-2E-2	数理情報学							◎	

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その4)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー-ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを交える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる	学修成果を情報システム・数理科学・自然科学の3領域で活用して社会の発展に貢献することができる
S1-630-32-2E-3	微分方程式						◎		
S1-630-33-3E-3	複素関数						◎		
S1-630-34-3E-3	フーリエ解析						◎	○	
S1-630-35-3E-3	ベクトル解析						◎		
S1-630-36-3E-2	数値解析						◎	○	
S1-630-37-2E-2	感覚知覚情報論A					○	◎		
S1-630-38-2E-2	感覚知覚情報論B					○	◎		
S1-630-39-2E-2	自然情報科学					○	◎		
S1-630-40-2E-1	情報科学実験実習					○	◎		
S1-711-01-2E-1	社会統計学A			◎					
S1-711-02-3E-2	情報社会論			◎					
S1-712-01-1R-1	現代教職論			◎					
S1-712-02-1R-1	教育基礎論			◎					
S1-712-03-1R-1	教育の制度と経営			◎					
S1-712-04-2R-2	教育心理学			◎					
S1-712-05-2R-2	教育課程論			◎					
S1-712-06-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎					
S1-712-07-2R-2	教育の方法と技術			◎					
S1-712-08-2R-2	教育相談の理論と方法			◎					
S1-712-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎					
S1-712-10-2R-3	数学科教育法(概論)			○	◎				
S1-712-11-3R-3	数学科教育法(理論)			○	◎				
S1-712-12-3R-3	数学科教育法(実践)			○	◎				
S1-712-13-3R-3	数学科教育法(応用)			○	◎				
S1-712-14-3R-3	情報科教育法(概論・理論)			○	◎				
S1-712-15-3R-3	情報科教育法(実践・応用)			○	◎				
S1-712-16-3R-3	特別支援教育論			○	◎				
S1-712-17-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎				
S1-712-18-3R-2	介護体験実習			◎					
S1-712-19-4R-3	教育実習 I					○	◎		
S1-712-20-4R-3	教育実習 II					○	◎		
S1-712-21-4R-3	教職実践演習(中・高)						◎		
S1-720-01-1E-1	博物館概論			◎					
S1-720-02-1E-2	博物館教育論			◎					
S1-720-03-1E-2	市民活動論			◎					
S1-720-04-2E-2	生涯学習概論 I			◎					
S1-720-05-2E-2	生涯学習概論 II			◎					
S1-720-06-2E-1	図書館概論			◎					
S1-720-07-2E-2	地域スポーツ論			◎					
S1-720-08-2E-2	スポーツ指導論			◎					
S1-720-09-2E-2	地域構想論			◎					
S1-720-10-3R-2	現代社会と社会教育			◎					
S1-720-11-3E-3	社会教育課題研究			○			◎		
S1-720-12-3E-3	社会教育実習			○			◎		
S1-720-13-3E-2	教育調査実習A			◎					
S1-720-14-3E-2	教育調査実習B			◎					
S1-720-15-3E-2	市民性育成の教育論			◎					
S1-720-16-3E-2	地域教育論			◎					
S1-720-17-3E-2	地域社会論			◎					
S1-720-18-3E-2	地域文化論			◎					
S1-720-19-3E-2	スポーツマネジメント			◎					
S1-720-20-4E-3	社会教育計画			◎					
S1-720-21-4E-2	図書館制度・経営論			◎					

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その5)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー-ディプロマポリシー)		
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる	学修成果を情報システム・数理科学・自然科学の3領域で活用して社会の発展に貢献することができる
S1-730-01-1E-1	文化基礎論 I A			◎					
S1-730-02-1E-1	文化基礎論 I B			◎					
S1-730-03-1E-1	言語基礎論 I A			◎					
S1-730-04-1E-1	言語基礎論 I B			◎					
S1-730-05-1E-1	日本語教育学概論			◎					
S1-730-06-1E-2	日本語学		◎		○				
S1-730-07-2E-2	日本文学史A			◎					
S1-730-08-2E-2	日本文学史B			◎					
S1-730-09-2E-2	言語基礎論 II			◎					
S1-730-10-2E-2	日本の言語文化論			◎					
S1-730-11-2E-2	日本文化論特論			◎					
S1-730-12-2E-2	言語習得論								
S1-730-13-2E-2	言語とコミュニケーション		◎						
S1-730-14-2E-2	異文化コミュニケーションA		◎						
S1-730-15-2E-2	異文化コミュニケーションB		◎						
S1-730-16-2E-2	社会言語学			◎					
S1-730-17-2E-2	日本語学特論			◎					
S1-730-18-2E-2	日本語教授法			◎					
S1-730-19-3E-2	日本語文法論			◎					
S1-730-20-3E-2	日本語教育学特論 I			◎					
S1-730-21-3E-2	対照言語学			◎					
S1-730-22-3E-3	Advanced English Communication A		◎						
S1-730-23-3E-3	Advanced English Communication B		◎						
S1-730-24-3E-3	ドイツ語コミュニケーションⅢA		◎						
S1-730-25-3E-3	ドイツ語コミュニケーションⅢB		◎						
S1-730-26-3E-3	フランス語コミュニケーションⅢA		◎						
S1-730-27-3E-3	フランス語コミュニケーションⅢB		◎						
S1-730-28-3E-3	中国語コミュニケーションⅢA		◎						
S1-730-29-3E-3	中国語コミュニケーションⅢB		◎						
S1-730-30-3E-3	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢA		◎						
S1-730-31-3E-3	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢB		◎						
S1-730-32-3E-3	日本語教育実習法			○		◎			
S1-730-33-4E-2	日本語教育学特論 II			◎					

教養学部情報科学科課程表

平成 29 (2017) 年度以降入学生適用 (その 1)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
教養教育科目	第一類	人間的基礎	聖書を学ぶ	半期	●		2											◎印—必修科目	
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2												◎印—選択必修科目
			キリスト教学A(キリスト教と倫理)	半期										2					} 4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。
			キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期									2						
			キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期									2						
			キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期									2						
			市民社会を生きる	半期	○	○	2												
			地球社会を生きる	半期				○	○	2									
			科学技術社会を生きる	半期				○	○	2									
			キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2												
	知的基礎	クリティカル・シンキング	半期							○	○	2							
		数理的思考の基礎	半期	○	○	2													
		統計的思考の基礎	半期	○	○	2													
		科学的思考の基礎	半期				○	○	2										
		情報化社会の基礎	半期	○	○	2													
		メディア・リテラシー	半期				○	○	2										
		読解・作文の技法	半期	○	○	2													
		研究・発表の技法	半期				○	○	2										
	第二類	人文系	哲学	半期	○	○	2												
			芸術論	半期	○	○	2												
			音楽	半期	○	○	2												
			歴史学	半期	○	○	2												
			文学	半期	○	○	2												
			倫理学	半期				○	○	2									
		社会系	心理学	半期	○	○	2												
			社会学	半期	○	○	2												
			経済学	半期	○	○	2												
			法学	半期	○	○	2												
地理学			半期	○	○	2													
日本国憲法			半期				○	○	2										
現代の政治			半期				○	○	2										
社会福祉論			半期				○	○	2										
東北地域論			半期				○	○	2										
自然系			環境の科学	半期	○	○	2												
		自然の科学	半期	○	○	2													
		生命の科学	半期	○	○	2													
	健康の科学	半期				○	○	2											
		先端の科学と技術	半期				○	○	2										
地域教育科目	震災と復興	半期	○	○	2														
	地域の課題Ⅰ	半期				●		2									◎		
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2											
	地域課題演習	半期									4								
外国語科目	英語	英語ⅠA	半期	●		1											◎		
		英語ⅠB	半期		●	1											◎		
		英語ⅡA	半期				●		1								◎		
		英語ⅡB	半期					●	1								◎		
		英語コミュニケーションⅠA	半期	●		1													
		英語コミュニケーションⅠB	半期		●	1													
		英語コミュニケーションⅡA	半期				●		1										
		英語コミュニケーションⅡB	半期					●	1										

教養学部情報科学科課程表

平成29(2017)年度以降入学生適用(その2)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
外国語科目	選択外国語	ドイツ語Ⅰ(週1)A	半期	●		1										◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目 ◎ 2単位選択必修。
		ドイツ語Ⅰ(週1)B	半期		●		1									
		フランス語Ⅰ(週1)A	半期	●		1										
		フランス語Ⅰ(週1)B	半期		●		1									
		中国語Ⅰ(週1)A	半期	●		1										
		中国語Ⅰ(週1)B	半期		●		1									
		韓国・朝鮮語Ⅰ(週1)A	半期	●		1										
		韓国・朝鮮語Ⅰ(週1)B	半期		●		1									
		ドイツ語Ⅰ(週2)A	半期	●		2										
		ドイツ語Ⅰ(週2)B	半期		●		2									
		フランス語Ⅰ(週2)A	半期	●		2										
		フランス語Ⅰ(週2)B	半期		●		2									
		中国語Ⅰ(週2)A	半期	●		2										
		中国語Ⅰ(週2)B	半期		●		2									
		韓国・朝鮮語Ⅰ(週2)A	半期	●		2										
		韓国・朝鮮語Ⅰ(週2)B	半期		●		2									
		ドイツ語コミュニケーションⅠA	半期	●		1										
		ドイツ語コミュニケーションⅠB	半期		●		1									
		フランス語コミュニケーションⅠA	半期	●		1										
		フランス語コミュニケーションⅠB	半期		●		1									
		中国語コミュニケーションⅠA	半期	●		1										
		中国語コミュニケーションⅠB	半期		●		1									
		韓国・朝鮮語コミュニケーションⅠA	半期	●		1										
		韓国・朝鮮語コミュニケーションⅠB	半期		●		1									
		ドイツ語ⅡA	半期				●		1							
		ドイツ語ⅡB	半期					●		1						
		フランス語ⅡA	半期				●		1							
		フランス語ⅡB	半期					●		1						
		中国語ⅡA	半期				●		1							
		中国語ⅡB	半期					●		1						
		韓国・朝鮮語ⅡA	半期				●		1							
		韓国・朝鮮語ⅡB	半期					●		1						
保健体育科目	体育講義	半期	○	○	2											
	スポーツ実技	通年	●	●	2											
外国人留学生科目	第一類	日本事情A	半期			2								留学生のみ対象		
		日本事情B	半期			2										
		日本事情C	半期			2										
	第二類	日本語Ⅰ	通年			2										
日本語Ⅱ	通年					2										
学部共通科目	基礎コンピュータ	半期	●		2											
	基礎統計学	半期	●		2											
	応用統計学	半期		●		2										
	文化人類学	半期			2											
	日本語学	半期			2											
	キャリアデザイン	半期					2									
	思想の歴史	半期					2									
	芸術の歴史	半期					2									
	宗教と人間	半期					2									
	社会調査法	半期					2									
	ボランティア活動	半期					2									
	現代社会の諸問題	半期							2							
	海外研究Ⅰ	半期						2								
	海外研究Ⅱ	半期							2							

教養学部情報科学科課程表

平成 29 (2017) 年度以降入学生適用 (その 3)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年				
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位		
学 部 共 通 科 目	人間科学演習 A	半期							●		1				◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目 ◎ 2単位選択必修。同一学科名称の演習 A、B を修得すること。	
	人間科学演習 B	半期								●	1					
	言語文化学演習 A	半期							●		1					
	言語文化学演習 B	半期								●	1					
	情報科学演習 A	半期							●		1					
	情報科学演習 B	半期								●	1					
	地域構想学演習 A	半期							●		1					
	地域構想学演習 B	半期								●	1					
	総合研究(卒業課題) A	半期										●		2		
	総合研究(卒業課題) B	半期											●	2		
基 礎 科 目	情報科学基礎教育	半期	●		2										◎	
	情報システム基礎論 A	半期	●		2										◎	
	情報システム運用法 A	半期	●		2										◎	
	情報システム基礎論 B	半期		●	2										◎	
	情報システム運用法 B	半期		●	2										◎	
	情報数学概論	半期	●		2										◎	
	コンピュータと論理 A	半期	●		2										◎	
	コンピュータと論理 B	半期		●	2										◎	
	コンピュータ科学 A	半期				●		2							◎	
	コンピュータ科学 B	半期					●	2							◎	
	情報科学への招待	半期				●		2								
	学 科 専 門 科 目	プログラミングの基礎	半期				●		2							
		プログラミング初級	半期				●		2							
プログラミング中級		半期					●	2								
プログラミング上級		半期							●		2					
ソフトウェア開発論		半期								●	2					
アルゴリズムとデータ構造		半期					●	2								
コンピュータシステム論 A		半期				●		2								
コンピュータシステム論 B		半期					●	2								
ネットワーク基礎論		半期							●		2					
ネットワーク運用論		半期								●	2					
プログラム言語論		半期							●		2					
データベースシステム		半期								●	2					
メディア表現の技法 A		半期							●		2					
メディア表現の技法 B		半期								●	2					
情報社会と情報倫理		半期		●	2											
情報と職業		半期							●		2					
集合と論理		半期	●		2											
線形代数学 I		半期		●	2											
線形代数学 II		半期				●		2								
線形代数学 III		半期					●	2								
代数学 I		半期							●		2					
代数学 II		半期								●	2					
解析学 I		半期		●	2											
解析学 II		半期				●		2								
解析学 III		半期					●	2								
解析学 IV		半期							●		2					
幾何学 I		半期				●		2								
幾何学 II		半期					●	2								
確率・統計 I		半期							●		2					
確率・統計 II		半期								●	2					
数理情報学		半期					●	2								
微分方程式		半期					●	2								

教養学部情報科学科課程表

平成 29 (2017) 年度以降入学生適用 (その 4)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考			
			1 年			2 年			3 年			4 年						
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位				
学 科 専 門 科 目	複素関数	半期							●		2						○印—必修科目 ○印—選択必修科目	
	フーリエ解析	半期							●		2							
	ベクトル解析	半期								●	2							
	数値解析	半期								●	2							
	感覚知覚情報論 A	半期				●		2										
	感覚知覚情報論 B	半期					●	2										
	自然情報科学	半期				●		2										
	情報科学実験実習	半期					●	2										
	情報科学発展演習 A	半期								●		1						
	情報科学発展演習 B	半期									●	1						
教員免許状 教科に関する科目	社会統計学 A	半期				●		2										
	情報社会論	半期									2							
免 許 お よ び 資 格 関 係 科 目	教 職 等 に 関 する 科 目	現代教職論	半期			2										○	○印は教職に必修 ☆印は中学校免許状に必修	
		教育原理	通年	●	●	4												○
		教育心理学	半期						2									○
		教育課程論	半期						2									○
		教科教育法 I (数学)	半期					●	2									○
		教科教育法 I (情報)	半期							●		2						○
		教科教育法 II (数学)	半期								●	2						○
		教科教育法 III (数学)	半期									●	2					○
		教科教育法 III (情報)	半期										●	2				○
		教科教育法 IV (数学)	半期										2					
		道徳教育の理論と方法	半期						2									☆
		特別活動の理論と方法	半期										2					○
		教育方法	半期						2									○
		教育の相談と指導 I	半期						2									○
		教育の相談と指導 II	半期						2									○
		教育実習 I	通年												3			○
		教育実習 II	通年												2			☆
教職実践演習 (中・高)	半期												2		○			
介護体験実習	通年										2				☆			
社会教育主事に関する科目	博物館概論	半期			2												◇印は社会教育主事資格必修	
	博物館教育論	半期			2													
	市民活動論	半期		●	2													
	生涯学習概論	通年				●	●	4								◇		
	生涯学習論	半期						2										
	図書館概論	半期						2										
	博物館経営論	半期						2										
	教育工学実習	半期						2										
	地域スポーツ論	半期						2										
	スポーツ指導論	半期						2										
	地域構想論	半期						2										
	地域福祉論	半期						2										
	現代社会と社会教育	半期										2				◇		
	社会教育課題研究	通年							●	●	4							
	社会教育実習	通年							●	●	2							
	教育調査実習 A	半期							●		2							
	教育調査実習 B	半期								●	2							
図書館情報資源概論	半期										2							
市民性育成の教育論	半期										2							
地域教育論	半期										2							
地域社会論	半期										2							

教養学部情報科学科課程表

平成 29 (2017) 年度以降入学生適用 (その5)

※開講学年前期後期欄 { ●-原則としてその学期で開講。
○-原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
社会教育主事に 関する科目	地域文化論	半期											2				◇印は社会教育主事資格必修
	地域政策論	半期											2				
	スポーツマネジメント	半期											2				
	社会教育計画	通年										●	●	4	◇		
	図書館制度・経営論	半期												2			
免許および資格関係科目 に 関する 科目	文化基礎論 I A	半期	●		2												□印は日本語教員資格に必修
	文化基礎論 I B	半期		●	2												
	言語基礎論 I A	半期	●		2											□	
	言語基礎論 I B	半期		●	2											□	
	日本語基礎論	半期			2											□	
	日本文学史A	半期				●		2									
	日本文学史B	半期					●	2									
	言語基礎論 II A	半期				●		2									
	言語基礎論 II B	半期					●	2									
	日本語学概論A	半期				●		2								□	
	日本語学概論B	半期					●	2								□	
	日本語教育学概論	半期					●	2								□	
	日本の言語文化論	半期						2								□	
	日本文化論特論	半期						2								□	
	言語習得論	半期					●	2								□	
	言語とコミュニケーション	半期						2								□	
	異文化コミュニケーションA	半期				●		2								□	
	異文化コミュニケーションB	半期					●	2								□	
	言語獲得論	半期				●		2								□	
	社会言語学	半期						2								□	
	現代の文化人類学	半期						2									
	日本語文法論	半期											2			□	
	日本語学特論	半期											2			□	
	日本語教授法	半期								●		2				□	
	日本語教育学特論A	半期								●		2				□	
	日本語教育学特論B	半期									●	2				□	
	言語と情報	半期										2					
	対照言語学	半期										2					
	Advanced English Communication A	半期								●		1					
	Advanced English Communication B	半期									●	1					
ドイツ語コミュニケーションⅢA	半期								●		1						
ドイツ語コミュニケーションⅢB	半期									●	1						
フランス語コミュニケーションⅢA	半期								●		1						
フランス語コミュニケーションⅢB	半期									●	1						
中国語コミュニケーションⅢA	半期								●		1						
中国語コミュニケーションⅢB	半期									●	1						
韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢA	半期								●		1						
韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢB	半期									●	1						
日本語教育実習法	半期											2			□		

情報科学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

科目区分		単 位	
教養教育科目	第一類	人間的基礎	10
		知的基礎	10
	第二類	人文系	4
		社会系	4
		自然系	4
小 計		38	
地域教育科目		2	
外国語科目	英語	4	
	選択外国語	2	
	小 計	6	
外国人留学生科目			
学部共通科目		10	
学科専門科目	基礎科目	20	
	専門科目	32	
	小 計	52	
教養教育科目 地域教育科目 外国語科目 保健体育科目 学部共通科目 学科専門科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目 留学等により他大学で修得し、本学が単位認定した科目		16	
合 計		124	

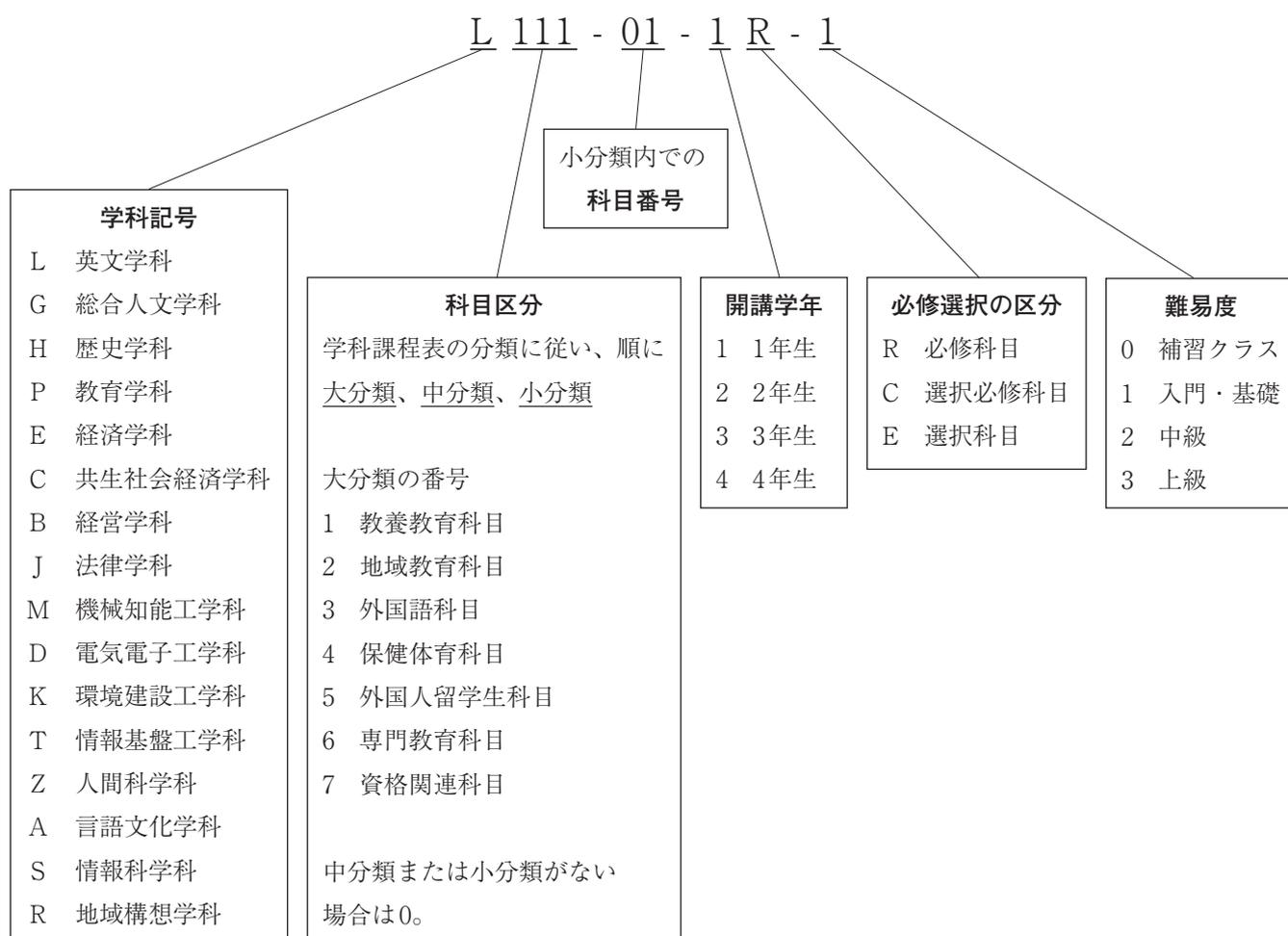
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キリスト教 の教えを踏まえた 考察ができる	高度な知的活動 に必要な汎用的 諸技能・能力及 び英語力を活用 できる	ものごとを広く 多様な視点から 認識し、異なる 認識・思考方法 や価値観に理解 を示すことがで きる	専攻分野の専門 的知識とそれを 支える認識や思 考の方法を説明 できる	課題を発見し、 その解決のため に学修成果を総 合的に活用でき る
S111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
S111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
S111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
S111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
S111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
S111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
S111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
S111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎		
S111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎		
S111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
S112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
S112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
S112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
S112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
S112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
S112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
S112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
S112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎			
S121-01-1E-1	哲学			◎		
S121-02-1E-1	芸術論			◎		
S121-03-1E-1	音楽			◎		
S121-04-1E-1	歴史学			◎		
S121-05-1E-1	文学			◎		
S121-06-2E-1	倫理学	○		○	◎	
S122-01-1E-1	心理学			○	◎	
S122-02-1E-1	社会学			○	◎	
S122-03-1E-1	経済学			○	◎	
S122-04-1E-1	法学			○	◎	
S122-05-1E-1	地理学			○	◎	
S122-06-2E-1	日本国憲法			○	◎	
S122-07-2E-1	現代の政治			○	◎	
S122-08-2E-1	社会福祉論			○	◎	
S122-09-2E-1	東北地域論			○	◎	
S123-01-1E-1	環境の科学				◎	
S123-02-1E-1	自然の科学			◎	○	
S123-03-1E-1	生命の科学			◎	○	
S123-04-2E-1	健康の科学				◎	
S123-05-2E-1	先端の科学と技術				◎	
S200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
S200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ					◎
S200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					◎
S200-04-3E-2	地域課題演習					◎
S310-01-1R-1	英語ⅠA		◎	○		
S310-02-1R-1	英語ⅠB		◎	○		
S310-03-2R-2	英語ⅡA		◎	○		
S310-04-2R-2	英語ⅡB		◎	○		
S310-05-1E-1	英語コミュニケーションⅠA		◎	○		
S310-06-1E-1	英語コミュニケーションⅠB		◎	○		
S310-07-2E-2	英語コミュニケーションⅡA		◎	○		
S310-08-2E-2	英語コミュニケーションⅡB		◎	○		
S320-01-1C-1	ドイツ語Ⅰ(週1)A		◎	○		
S320-02-1C-1	ドイツ語Ⅰ(週1)B		◎	○		
S320-03-1C-1	フランス語Ⅰ(週1)A		◎	○		
S320-04-1C-1	フランス語Ⅰ(週1)B		◎	○		
S320-05-1C-1	中国語Ⅰ(週1)A		◎	○		
S320-06-1C-1	中国語Ⅰ(週1)B		◎	○		
S320-07-1C-1	韓国・朝鮮語Ⅰ(週1)A		◎	○		
S320-08-1C-1	韓国・朝鮮語Ⅰ(週1)B		◎	○		
S320-09-1C-1	ドイツ語Ⅰ(週2)A		◎	○		
S320-10-1C-1	ドイツ語Ⅰ(週2)B		◎	○		
S320-11-1C-1	フランス語Ⅰ(週2)A		◎	○		
S320-12-1C-1	フランス語Ⅰ(週2)B		◎	○		
S320-13-1C-1	中国語Ⅰ(週2)A		◎	○		
S320-14-1C-1	中国語Ⅰ(週2)B		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
S320-15-1C-1	韓国・朝鮮語Ⅰ(週2)A		◎	○		
S320-16-1C-1	韓国・朝鮮語Ⅰ(週2)B		◎	○		
S320-17-1E-1	ドイツ語コミュニケーションⅠA		◎	○		
S320-18-1E-1	ドイツ語コミュニケーションⅠB		◎	○		
S320-19-1E-1	フランス語コミュニケーションⅠA		◎	○		
S320-20-1E-1	フランス語コミュニケーションⅠB		◎	○		
S320-21-1E-1	中国語コミュニケーションⅠA		◎	○		
S320-22-1E-1	中国語コミュニケーションⅠB		◎	○		
S320-23-1E-1	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅠA		◎	○		
S320-24-1E-1	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅠB		◎	○		
S320-25-2E-2	ドイツ語ⅡA		◎	○		
S320-26-2E-2	ドイツ語ⅡB		◎	○		
S320-27-2E-2	フランス語ⅡA		◎	○		
S320-28-2E-2	フランス語ⅡB		◎	○		
S320-29-2E-2	中国語ⅡA		◎	○		
S320-30-2E-2	中国語ⅡB		◎	○		
S320-31-2E-2	韓国・朝鮮語ⅡA		◎	○		
S320-32-2E-2	韓国・朝鮮語ⅡB		◎	○		
S400-01-1E-1	体育講義			◎		
S400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
S510-01-1E-1	日本事情A			◎		
S510-02-1E-1	日本事情B			◎		
S510-03-1E-1	日本事情C			◎		
S520-01-1E-1	日本語Ⅰ		◎			
S520-02-2E-2	日本語Ⅱ		◎			
S610-01-1E-1	基礎コンピュータ		◎		○	
S610-02-1E-1	基礎統計学		◎		○	
S610-03-1E-2	応用統計学		◎		○	
S610-04-1E-2	文化人類学			◎	○	
S610-05-1E-2	日本語学		◎		○	
S610-06-2E-1	キャリアデザイン		◎			
S610-07-2E-2	思想の歴史			◎	○	
S610-08-2E-2	芸術の歴史			◎	○	
S610-09-2E-2	宗教と人間			◎	○	
S610-10-2E-2	社会調査法		◎		○	
S610-11-2E-1	ボランティア活動	○		◎		
S610-12-3E-2	現代社会の諸問題			◎	○	
S610-13-2E-2	海外研究Ⅰ		◎	○		
S610-14-2E-2	海外研究Ⅱ		◎	○		
S610-15-3C-3	人間科学演習A				◎	○
S610-16-3C-3	人間科学演習B				◎	○
S610-17-3C-3	言語文化学演習A				◎	○
S610-18-3C-3	言語文化学演習B				◎	○
S610-19-3C-3	情報科学演習A				◎	○
S610-20-3C-3	情報科学演習B				◎	○
S610-21-3C-3	地域構想学演習A				◎	○
S610-22-3C-3	地域構想学演習B				◎	○
S610-23-4R-3	総合研究(卒業課題)A				○	◎
S610-24-4R-3	総合研究(卒業課題)B				○	◎

教養学部 情報科学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)		
		現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる	情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を獲得し、それらの概要を説明できる	学修成果を情報システム・数理科学・自然科学の3領域で活用して社会の発展に貢献することができる
S620-01-1R-0	情報科学基礎教育	◎	○	
S620-02-1R-1	情報システム基礎論A	◎	○	
S620-03-1R-1	情報システム運用法A	◎	○	
S620-04-1R-1	情報システム基礎論B	◎	○	
S620-05-1R-1	情報システム運用法B	◎	○	
S620-06-1R-1	情報数学概論	◎	○	
S620-07-1R-1	コンピュータと論理A	◎	○	
S620-08-1R-1	コンピュータと論理B	◎	○	
S620-09-2R-1	コンピュータ科学A	◎	○	
S620-10-2R-1	コンピュータ科学B	◎	○	
S620-11-2E-1	情報科学への招待	◎		
S630-01-2E-1	プログラミングの基礎		◎	
S630-02-2E-1	プログラミング初級		◎	
S630-03-2E-2	プログラミング中級		◎	
S630-04-3E-3	プログラミング上級		◎	
S630-05-3E-3	ソフトウェア開発論		◎	
S630-06-2E-2	アルゴリズムとデータ構造		◎	
S630-07-2E-2	コンピュータシステム論A		◎	
S630-08-2E-3	コンピュータシステム論B		◎	
S630-09-3E-2	ネットワーク基礎論		◎	
S630-10-3E-3	ネットワーク運用論		◎	
S630-11-3E-3	プログラム言語論		◎	
S630-12-3E-2	データベースシステム		◎	
S630-13-3E-2	メディア表現の技法A		◎	
S630-14-3E-3	メディア表現の技法B		◎	
S630-15-1E-2	情報社会と情報倫理	○	◎	
S630-16-3E-2	情報と職業	○	◎	
S630-17-1E-1	集合と論理		◎	
S630-18-1E-1	線形代数学 I		◎	
S630-19-2E-1	線形代数学 II		◎	
S630-20-2E-2	線形代数学 III		◎	
S630-21-3E-2	代数学 I		◎	
S630-22-3E-3	代数学 II		◎	
S630-23-1E-1	解析学 I		◎	
S630-24-2E-1	解析学 II		◎	
S630-25-2E-2	解析学 III		◎	
S630-26-3E-2	解析学 IV		◎	
S630-27-2E-1	幾何学 I		◎	
S630-28-2E-2	幾何学 II		◎	
S630-29-3E-2	確率・統計 I		◎	
S630-30-3E-3	確率・統計 II		◎	
S630-31-2E-2	数理情報学		◎	
S630-32-2E-3	微分方程式		◎	
S630-33-3E-3	複素関数		◎	
S630-34-3E-3	フーリエ解析		◎	○
S630-35-3E-3	ベクトル解析		◎	
S630-36-3E-2	数値解析		◎	○
S630-37-2E-2	感覚知覚情報論 A	○	◎	
S630-38-2E-2	感覚知覚情報論 B	○	◎	
S630-39-2E-2	自然情報科学	○	◎	
S630-40-2E-1	情報科学実験実習	○	◎	
S630-41-3E-3	情報科学発展演習A		○	◎
S630-42-3E-3	情報科学発展演習B		○	◎

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)			
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる
S711-01-2E-1	社会統計学 A			◎	
S711-02-3E-2	情報社会論			◎	
S712-01-1R-1	現代教職論			◎	
S712-02-1R-2	教育原理			◎	
S712-03-2R-2	教育心理学			◎	
S712-04-2R-2	教育課程論			◎	
S712-05-2R-2	教科教育法 I (数学)			◎	○
S712-06-3R-2	教科教育法 I (情報)			◎	○
S712-07-3R-2	教科教育法 II (数学)			◎	○
S712-08-3R-2	教科教育法 III (数学)			◎	○
S712-09-3R-2	教科教育法 III (情報)			◎	○
S712-10-3E-2	教科教育法 IV (数学)			◎	○
S712-11-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎	
S712-12-3R-2	特別活動の理論と方法			◎	
S712-13-2R-2	教育方法			◎	
S712-14-2R-2	教育の相談と指導 I			◎	
S712-15-2R-2	教育の相談と指導 II			◎	
S712-16-4R-3	教育実習 I				◎
S712-17-4R-3	教育実習 II				◎
S712-18-4R-3	教職実践演習 (中・高)				◎
S712-19-3R-2	介護体験実習			◎	
S720-01-1E-1	博物館概論			◎	
S720-02-1E-2	博物館教育論			◎	
S720-03-1E-2	市民活動論			◎	
S720-04-2R-1	生涯学習概論			◎	
S720-05-2E-2	生涯学習論			◎	
S720-06-2E-1	図書館概論			◎	
S720-07-2E-2	博物館経営論			◎	
S720-08-2E-2	教育工学実習			◎	
S720-09-2E-2	地域スポーツ論			◎	
S720-10-2E-2	スポーツ指導論			◎	
S720-11-2E-2	地域構想論			◎	
S720-12-2E-2	地域福祉論			◎	
S720-13-3R-2	現代社会と社会教育			◎	
S720-14-3E-3	社会教育課題研究			○	◎
S720-15-3E-3	社会教育実習			○	◎
S720-16-3E-2	教育調査実習 A			◎	
S720-17-3E-2	教育調査実習 B			◎	
S720-18-3E-2	図書館情報資源概論			◎	
S720-19-3E-2	市民性育成の教育論			◎	
S720-20-3E-2	地域教育論			◎	
S720-21-3E-2	地域社会論			◎	
S720-22-3E-2	地域文化論			◎	
S720-23-3E-2	地域政策論			◎	
S720-24-3E-2	スポーツマネジメント			◎	
S720-25-4R-3	社会教育計画			◎	
S720-26-4E-2	図書館制度・経営論			◎	
S730-01-1E-1	文化基礎論 I A			◎	
S730-02-1E-1	文化基礎論 I B			◎	
S730-03-1R-1	言語基礎論 I A			◎	
S730-04-1R-1	言語基礎論 I B			◎	
S730-05-1R-1	日本語基礎論			◎	
S730-06-2E-2	日本文学史 A			◎	
S730-07-2E-2	日本文学史 B			◎	
S730-08-2E-2	言語基礎論 II A			◎	
S730-09-2E-2	言語基礎論 II B			◎	
S730-10-2R-2	日本語学概論 A			◎	
S730-11-2R-2	日本語学概論 B			◎	
S730-12-2R-1	日本語教育学概論			◎	
S730-13-2R-2	日本の言語文化論			◎	
S730-14-2R-2	日本文化論特論			◎	
S730-15-2R-2	言語習得論			◎	
S730-16-2R-2	言語とコミュニケーション		◎		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
S730-17-2R-2	異文化コミュニケーションA		◎			
S730-18-2E-2	異文化コミュニケーションB		◎			
S730-19-2R-2	言語獲得論			◎		
S730-20-2R-2	社会言語学			◎		
S730-21-2E-2	現代の文化人類学			◎		
S730-22-3R-2	日本語文法論			◎		
S730-23-3R-2	日本語学特論			◎		
S730-24-3R-2	日本語教授法			◎		
S730-25-3R-2	日本語教育学特論A			◎		
S730-26-3R-2	日本語教育学特論B			◎		
S730-27-3E-2	言語と情報			◎		
S730-28-3E-2	対照言語学			◎		
S730-29-3E-3	Advanced English Communication A		◎			
S730-30-3E-3	Advanced English Communication B		◎			
S730-31-3E-3	ドイツ語コミュニケーションⅢA		◎			
S730-32-3E-3	ドイツ語コミュニケーションⅢB		◎			
S730-33-3E-3	フランス語コミュニケーションⅢA		◎			
S730-34-3E-3	フランス語コミュニケーションⅢB		◎			
S730-35-3E-3	中国語コミュニケーションⅢA		◎			
S730-36-3E-3	中国語コミュニケーションⅢB		◎			
S730-37-3E-3	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢA		◎			
S730-38-3E-3	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢB		◎			
S730-39-4R-3	日本語教育実習法			○		◎